

# しものせき Port News

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

## Contents

### 工事の進捗状況

国際クルーズ拠点整備事業 初めてのケーソン据付け  
下関港海岸（前田地区、浜浦地区）  
工事現場における新型コロナ対応

### トピックス

長州出島で初めての試み。工事関係者が献血に協力しました。  
下関港海岸閘門操作訓練を実施しました。  
下関港海岸前田地区立入禁止について



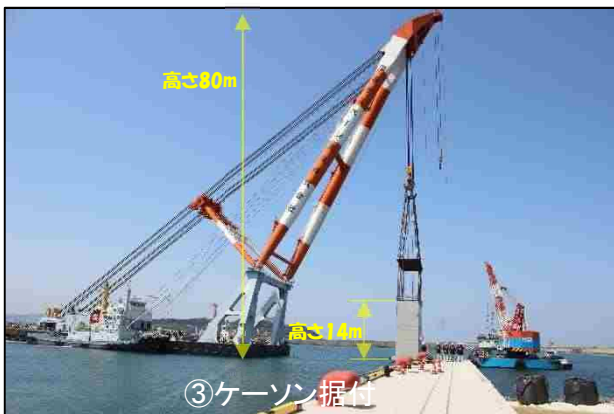
下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

# 工事の進捗状況

## 国際クルーズ拠点整備事業 初めてのケーソン据付け

令和2年3月26日～4月4日にかけて、下関港 新港地区にて整備中のクルーズ船専用岸壁のケーソン6函の据え付けを行いました。

今回は、据え付け箇所背後の陸上にて製作した1函当たり長さ19.8m、幅8.2m、高さ14.0m、重量約1,000トンのケーソンを大型起重機船にて吊り上げ、1日1函のペースで据え付けを行いました。



大型起重機船は自分で動けないので、引船に牽引してもらい移動します。



◀航空写真  
ケーソン据付け後

### ケーソン据付精度はどれくらい？



今回のケーソンは、長さ19.8m、幅8.2m、高さ14.0m、重量約1,000トン。

本工事で使用した大型起重機船は、約2,050トンの重量まで吊り上げることができ、水面からの高さも最大約80mあります。

岸壁を造るためにどのくらいの精度で据付けているかというと、数cmの誤差に収まるようにしています。

海上工事で現地の潮流や干満、波、風の状況を読みつつ、大型の作業船を操作し誤差数cmの据え付けるのは、まさに「匠の技」ではないでしょうか。



## 下関港海岸（前田地区、浜浦地区）

新型コロナの影響で、大手建設会社などが工事一時中止などの対応をとっていましたが、当事務所の工事については中止せず、新型コロナ対策を実施し、工事を順次進めています。

前田地区、浜浦地区においては、既存の護岸前面に、直立消波ブロック※を設置し、護岸整備を行っています。

（前田地区）

前田地区の海岸整備は、平成30年に工事着手し、今年8月末には工事が完了する予定です。



【4月2日】

【コンクリート打設前】



【5月8日】

【コンクリート打設状況】



【6月5日】

【施工完了】

（浜浦地区）

浜浦地区の海岸整備は、令和元年に工事着手し、今年度中の整備完了を目指し、工事を進めています。



【4月16日】

【本体部工事前】



【5月14日】

【本体部工事状況】



【6月4日】

【本体部工事状況】

※直立消波ブロックの特長・・・特殊な形状をしたブロックを積上げることで護岸に空隙を設ける構造。一般の直立型（整備前の構造）と比べ、外洋波や荒天時の越波の軽減を図れる効果があるほか、船舶の航行で生じる航走波の反射も低減でき関門航路を通航する船舶の安全性向上にも寄与しています。

## 工事現場における新型コロナ対応

国土交通省においては、建設現場やオフィスにおける、感染予防対策の基本的事項について、「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（令和2年5月14日）」を作成し、周知しています。

これにより、弊所の工事現場においても、様々な取り組みを行っています。

《新型コロナ対策事例》

- ・現場入場時の体温測定の実施
- ・消毒液の設置
- ・マスク着用の敢行
- ・一定の距離を確保（打合せ・朝礼時等）
- ・現場事務所・休憩所の換気
- ・必要最低限の人員での打合せ
- ・Web会議の実施

など



【朝礼時：一定の距離を確保】



【発注者・受注者間工程会議（Web会議）】

# トピックス

## 長州出島で初めての試み。工事関係者が献血に協力しました。

令和2年6月23日、工事関係者の方々が輸血に協力しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、献血協力者の減少が続いており、この状況が続くと輸血医療に深刻な影響が出てしまう可能性が危惧されています。

このような状況の中、長州出島で現在工事を行っている施工業者が地域貢献も踏まえ、献血活動に少しでも貢献しようと取り組んだものです。この取り組みに、長州出島だけでなく、県内の工事作業所も賛同し、8作業所約60人の方々が献血に協力しました。

また、日本赤十字社の担当者によると「工事現場での献血は非常に珍しく、このような取り組みに感謝している。」とのことでした。

こうもん

## 下関港海岸閘門操作訓練を実施しました。

令和2年5月28日に、下関港海岸（長府扇町）に設置している閘門操作の訓練を実施しました。台風期を前に、当事務所職員及び下関市港湾局の職員と合同で、閘門の開閉操作の手順の確認、操作練習を行い、最後に、閘門周辺の掃除を行いました。

閘門は高潮災害を防ぐための特に重要な施設です。閘門周辺にゴミを捨てると、最悪の場合、開閉が出来なくなる恐れがあります。閘門周辺ではゴミなどを捨てないようにお願いします。

## 下関港海岸前田地区立入禁止について

下関港海岸前田地区にある史跡「平家の一杯水」については、海岸整備に合わせ階段を復旧し、参観できるようになっています。

しかしながら、当該箇所は関門海峡沿いで流れも速く、非常に危険であるため、史跡以外の場所への立入を禁止しています。

史跡以外の箇所には立ち入らないよう御理解・御協力をお願いいたします。



【閘門操作訓練の様子】



国土交通省 九州地方整備局  
**下関港湾事務所**

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1  
TEL (083) 266-3291 FAX (083) 261-1123  
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」  
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**  
受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00 (土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

